

科目名	ナンバリング	区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
母性看護援助論Ⅰ	NSP22_009	必修	2	2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
飯嶋 玲奈	405	reina.iijima	水曜日 9:00～13:00		
授業の目的・概要	女性のライフサイクル各期（思春期・成熟期・更年期・老年期）における性と生殖の観点から身体・心理・社会的な特徴及び発達を理解し、各時期に応じた健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、健康逸脱時における看護の目的・方法・役割機能について学ぶ。妊娠・分娩・産褥期、新生児期の経過を理解し、各時期の対象におこる変化や適応状態をアセスメントし、母性看護の対象に関わる基本的姿勢と基本的技術を学ぶ。対象とその家族のもつ課題や健康問題について理解し、周産期を正常に経過し、異常に逸脱しないように対象自身のセルフケア能力を活かした援助の基本的知識・技術・態度を修得する。さらに妊娠・分娩の異常、健康を逸脱した褥婦、不妊症、性感染症、更年期障害の看護について基本的知識・技術・態度を修得する。				
授業形式・方法	☒ 対面授業 ☒ 講義 ☒ 演習 ☐ PBL ☐ 反転授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☐ 遠隔授業(双方向型) ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 遠隔授業(自主学習) ☐ 実習 ☐ 実技 ☐ その他（ ）				
学習上の助言	予習復習を実施し疑問が生じた場合は講義毎のコメントペーパーやオフィスアワー等で質問すること。				
教科書	・系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学概論 母性看護学① 第14版/著:森 恵美 他 /医学書院 /2023 ・系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学② 第14版/著:森 恵美 他 /医学書院 /2023 〔2 冊指定〕				
参考書	・ウェルネス看護診断にもとづく 母性看護過程 第3版 /編:太田操 /医歯薬出版 /2017				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	女性のライフサイクル各期(思春期・成熟期・更年期・老年期)における女性の健康とその課題や看護を理解し説明することができる。			NS(2)(4)	
②	妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の正常な経過とその看護について説明することができる。			NS(2)(4)	
③	妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の健康逸脱とその看護について説明することができる。			NS(2)(4)	
④	産褥期、新生児期にある母子のアセスメント、看護診断を行うことができる。			NS(2)(3)(4)	
⑤	妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の看護に必要な技術を理解することができる。			NS(2)(4)	
授 業 計 画					
回	学習内容等		授業方法	学習課題・学習時間（時間）	
1	オリエンテーション 女性のライフサイクルと健康 (思春期・成熟期・更年期・老年期)		講義	【復習】既習内容を振り返る 【予習】次回の教科書を読む	1
2	妊娠の生理 胎児の発育と生理、母体の生理的变化		講義	【復習】既習内容を振り返る 【予習】次回の教科書を読む	1
3	妊娠期の心理・社会的特性 妊婦健康診査		講義	【復習】既習内容を振り返る 【予習】次回の教科書を読む	1
4	妊婦と家族の看護 (妊婦が受ける母子保健サービスや健康教育)		講義	【復習】既習内容を振り返る 【予習】次回の教科書を読む	1
5	妊娠期の異常		講義	【復習】既習内容を振り返る 【予習】次回の教科書を読む	1
6	妊娠期（胎児含む）のアセスメントの視点		講義	【復習】既習内容を振り返る 【予習】次回の教科書を読む	1
7	妊娠期（胎児含む）のアセスメント		演習	【復習】アセスメント課題 【予習】次回の教科書を読む	1
8	妊娠期の看護		演習	【復習】既習内容を振り返る 中間試験準備 【予習】次回の教科書を読む	1
9	中間試験（30・40分） 分娩の要素、分娩の経過		講義	【復習】中間テスト直し 【予習】次回の教科書を読む	1

10	中間試験の解説 分娩の要素、分娩の経過（つづき）	中間試験 講義	【復習】既習内容を振り返る 【予習】次回分の教科書を読む	1
11	分娩各期の特性	講義	【復習】既習内容を振り返る 【予習】次回分の教科書を読む	1
12	分娩期の異常	講義	【復習】既習内容を振り返る 【予習】次回分の教科書を読む	1
13	分娩期のアセスメントの視点	講義	【復習】既習内容を振り返る 【予習】次回分の教科書を読む	1
14	分娩期のアセスメント	演習	【復習】アセスメント課題	1
15	分娩期の看護	演習	【復習】既習内容を振り返る 【予習】次回分の教科書を読む	1
16	正常産褥	講義	【復習】既習内容を振り返る 【予習】次回分の教科書を読む	1
17	正常産褥（つづき） 母子保健制度	講義	【復習】既習内容を振り返る 【予習】次回分の教科書を読む	1
18	産褥期の異常	講義	【復習】既習内容を振り返る 【予習】次回分の教科書を読む	1
19	新生児の生理	講義	【復習】既習内容を振り返る 【予習】次回分の教科書を読む	1
20	新生児の生理（つづき） 新生児の異常	講義	【復習】既習内容を振り返る 【予習】次回分の教科書を読む	1
21	産褥期および新生児のアセスメントの視点 事例提示	講義	【復習】既習内容を振り返る 【予習】事例を読みこむ	1
22	退行性変化／進行性変化の アセスメントのための情報整理	演習	産褥期の看護過程の展開 アセスメント課題	1
23	退行性変化／進行性変化のアセスメント	演習		1
24	退行性変化／進行性変化における 看護診断と計画立案	演習		1
25	退行性変化／進行性変化における 看護過程の展開	演習		1
26	新生児／母親役割のアセスメントのための 情報整理	演習		1
27	新生児／母親役割における 看護診断と計画立案	演習		1
28	新生児／母親役割における看護過程の展開	演習		1
29	母性看護過程の振り返り	演習		1
30	母性看護援助論Ⅰの講義、演習内容の総括	講義	授業ファイル、教科書の内容確認	1
試	本試験（60分） 達成度評価・評価のポイントを参照			

【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/母性看護学】

総合評価割合 (%)		達成度評価					
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
総合力指標	知識・技術力	90	0	0	0	10	100
	思考・推論・創造する力	80	0	0	0	0	80
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
問題を発見・解決する力		0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	中間試験(20 点換算)と本試験(70 点換算)の合計 90 点で評価する。 ただし、90 点分のうち 60%得点できない場合は再試験の対象とする。 なお、中間試験で出題した【妊娠期】は本試験では問わないが、 期末に再試験となった場合には、すべての範囲から出題する。				中間および本試験後、解答の返却および解説の機会を設ける。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
その他	①		個人もしくはグループで周産期各期のアセスメントや看護を考える過程において、出席や取り組み状況を 10 点分で評価する。				その都度フィードバックする。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教 員 の 実 務 経 験	総合周産期母子医療センターにおいて助産師として 5 年の臨床経験を有し、かつ母性看護学および助産学の 7 年の教育経験を有する者が教授する。						
実践的授業の内容	実務経験を活かし講義および演習内容を構築し、さまざまな事例を取り上げながら展開する。						
そ の 他	・講義資料は事前に Teams 内に格納します。またレポートの提出や授業のフィードバックなどにおいても Teams や Forms を広く活用します。デバイスの準備（持参、充電）やログインなど自身の準備体制をきちんと整えたうえで授業に出席するようにしてください。 ・演習課題は次年度の母性看護援助論Ⅱに繋がる内容である。演習前までに修得した知識をもとに、参考文献を活用しながら、ていねいにアセスメントしてください。						